



牛久の地で育む
総合診療力！

USHIKU

医療法人社団 常仁会

牛久愛和総合病院

初期臨床研修医・専攻医募集パンフレット

DNA

専門研修
はじめました。



病院長からのメッセージ

総合力と自由度の高いプログラムで
人と医療に興味と探求心を持った医師に育む

瀬下 明良 院長 Akiyoshi Seshimo 信州大学卒

当院は、茨城県全体の基幹病院の1つとして成り立つ総合病院です。多数の施設との連携によりほとんどの診療科の研修が可能のため、総合力をしっかりと養うことができます。また、2次救急拠点病院であり、内科系、外科系を含めて救急体制を維持し、医療ニーズの高い地域の急性期医療・救急医療の重要な役割を

担っています。年間約3,000台の救急車を受け入れており、ドクターカーの運用も始まりました。医局は一つで全科垣根はなく、パラメディカルとの関係性も良く仕事のしやすさも当院の特徴です。

医師の基礎となる総合診療と救急診療はもちろん、専門分野にも積極的に探求し、オンもオフ



も充実した素晴らしい研修生活を送ってください。人と医療に絶えず興味と強い探求心を持ち続けられる方を歓迎します！

“ 3 つ の 柱 ” で 地 域 を 担 う 中 核 病 院

我々は医療全般はもとより、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて
地域住民の皆様には最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

救急医療

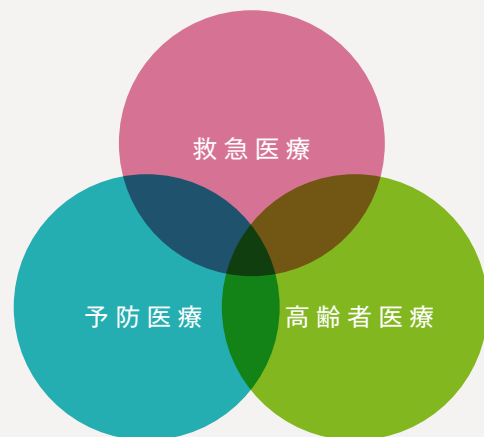
2次救急指定病院として、24時間手術や検査が可能な体制を整えており、年間約3,000台の救急車を受け入れております。

予防医療

病院内には、健診センターと健康増進施設のスポーツリラックがあります。もちろん、生活習慣病教室など医師・コメディカルによる地域の方々への講演も行っております。

高齢者医療

病院には急性期病床のほか、医療療養病床55床、敷地内には介護老人保健施設と特別養護老人ホームがあり、高齢者のための入院から退院までのシームレスな体制を整えております。



USHIKU

専門研修 はじめました。

当地区には系統的な内科専攻教育システムがなかったため、牛久愛和総合病院での内科専門医教育プログラムを立ち上げました。

特徴

- 1 各科の垣根が低い相談しやすい環境。
- 2 2次救急の病院で、多くの疾患症例に触れることができる。
- 3 症例数豊富で、希望ややる気に応じて症例を取り扱える。
ただし、無理な量や質を強制することはない。
- 4 経験豊富で爽やかな指導医がサポート。

目指す姿

- サブスペシャルティを軸に、内科疾患を広く理解し、専門医の治療まで繋げられるドクターを育成。
- 地域医療に貢献できるドクターの育成。

プログラム統括責任者・管理者からのメッセージ

専攻医の成長を第一に考えた研修環境で経験を積み、専門スキルを身につけてください！

脳神経内科 部長 中嶋 秀樹 先生 Hideki Nakajima 長崎大学卒

2023年度からスタートした当院の内科専門研修プログラムは、地域の文化や背景を深く理解し、患者さんに信頼される医師を育成することを目的に、専攻医の成長を全力でサポートする体制を整えております。専攻医のニーズに応じて3年コースと4年コースがあり、個々に応じた柔軟なプログラムを用意しています。ま

た、各専門科の医師が講義する「専攻医レクチャー」では、より実践的な内容で、日々の診療に即座に役立つ知識を提供しています。

当院には、全国から集まった各分野のエキスパートである指導医が揃っており、異なる大学や研修背景を持つ医師たちが知識や経験を交流することで、病院全体に新しい風

が吹き込まれています。

温かく、働きやすい環境の中で、一緒に成長していきましょう。私たちは、皆さんのやる気と努力を全力でサポートします。ぜひ、牛久愛和総合病院に飛び込んでください。

牛久愛和総合病院 内科専門研修プログラム例

研修期間：3年コース

1・2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
内科標準タイプ		内科専門研修		サブスペ専門研修			専門医試験
サブスペ重点タイプ(1年型)		内科専門研修					
サブスペ重点タイプ(2年型)		内科専門研修					

基幹施設である牛久愛和総合病院内科で2年間専門研修を行う。
また、卒後4年～5年のうち1年間連携施設*で専門研修を行う。

研修期間：4年コース

1・2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目
初期臨床研修	内科・サブスペ混合タイプ		内科専門研修				

基幹施設である牛久愛和総合病院内科で3年間専門研修を行う。また、卒後5年～6年のうち1年間連携施設*で専門研修を行う。連携研修施設は、専攻医の希望・将来像、研修達成度およびメディカルスタッフによる360度評価(内科専門研修評価)などを基に調整し決定する。

※連携施設

(筑波大学附属病院 / 総合病院 土浦協同病院 / JAとりで総合医療センター / 東京医科大学茨城医療センター)

牛久愛和総合病院 研修医・専攻医レクチャーやってます！

レクチャー名	専門科
脳卒中の診察NIHSSをマスターしよう！	脳神経内科
手術器具を使ってみる	外科
こどものみかた / 予防接種の今	小児科
初期診療とピットフォール	総合診療科・血液内科
救急患者の初期診療	救急医療



DNA



牛久の地で
育む
総合診療力！

指導医からのメッセージ

自分のペースで確実に経験を積み
確かなスキルアップを体感してください

石津 隆 副院長 Takashi Ishizu 筑波大学卒

当院の研修医数は1学年5人の少人数制であり、手厚いフォローときめ細かな指導により安心して研修に臨むことができますし、多忙で日々業務をこなすような環境ではなく、考えながら主体的に多数の経験を積むことができます。熟練した指導医がマンツーマンで各研修医に対応しており、少人数制のため高齢者を中心としたcommon diseaseや急性期症例を十分経験していただけます。担当する患者数も研修医の力量をみながら調節し、過度の負担がかからないように心がけています。また、胃内視鏡やエコー検査など通年で習熟したい検査があれば、ローテートしている科に関わらず希望の検査に入ることが可能で、融通が利く研修プログラムも当院の特徴の1つです。定期的に院内でCPCも開催しており、剖

検への参加、症例のプレゼンテーションなどを通じて、スキルアップすることができます。当院には自由度の高いカリキュラムと、困ったときに誰にでも相談できる風通しの良い環境があります。幅広い症例をじっくりと学んでいきたい方は、ぜひ一度見学にお越しください。



DOCTOR'S VOICE

研修医の声

01

初期研修医 1年目

大久保 甲斐先生

Kai Okubo

出身大学：福井大学



“ ”

将来希望する専門分野に関わらず
幅広い視野で多くのことを学べる環境

私は医学生の際、茨城県内の多くの病院を見学しましたが、その中で当院を最も希望する研修先として選びました。その理由は、研修医の育成に対するしっかりとした組織体制や、医師だけでなく看護師や他の医療スタッフによる手厚いサポート、そして病院全体の活気ある雰囲気に惹かれたからです。

当院の研修の特徴の一つに、「研修医レクチャー」があります。これは、各専門科の先生方による講義で、将来希望する専門分野に関わらず、幅広い視野で多くのことを学べる環境が整っています。金曜日にはクリニカルカンファレンスがあり、症例発表を通じて病態を考える力が養われるほか、指導医の先生からのフィードバックを受けることで、学会発表やプレゼンテーションの経験も積むことができます。また、講義だけでなく実践を通じても多く経験ができ、症例の偏りがなくプライマリ・ケアをしっかりと学べる環境が整っていることも当院の大きな魅力だと思います。

牛久愛和総合病院 初期臨床研修プログラム

2020年度以降の制度改定に沿った基本プログラムとなっており、必修科については4週間以上の研修も可能です。選択科含め、事前に希望を確認した上で2年間のプログラムを作成し、研修開始後も変更が可能となっております。

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科 (24週)						救急 (12週)			外科 (8週)		小児科 (4週)
一般外来並行研修	総合診療○ / 専門外来×						×			○		○

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
2年次	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	地域医療 (4週)	選択科 (36週)								
一般外来並行研修	×	×	○	診療科による								

[選択科]

研修医の要望に合わせた幅広い選択肢を用意しておりますので、詳細は担当までお聞きください。

特 徴

東京女子医科大学と筑波大学の関連病院となる当院は、医局派遣となる先生が50%、独自採用の先生が50%の構成となります。各科専門医制度研修施設であり、日本内科学会認定医制度教育病院（内科認定取得可能）でもあることから、医育機関としての風土があり、若手の先生が多い傾向にあります。



“ ”

活発な院内コミュニケーションで 連携やチーム医療を実践的に学ぶ

現在、ローテーション中の循環器内科での1日は、朝8時半の出勤から始まります。上級医に同行し、病棟の回診やカルテの記載、患者さんの診療方針を立て検査のオーダーなどを行います。その後、カテーテル室での検査や治療に研修医も参加し、将来役立つ手技があると上級医から「これやってみる?」と声をかけられることもあります。このように、1年目の早い段階から貴重な経験を積むことができる環境です。17時頃に仕事を終えて、帰宅後は趣味のテニスやゴルフ、ジムで体を動かしてリフレッシュしています。

当院を見学した際、病院全体の雰囲気が非常に良く、自分に合っていると直感的に感じ、当院での研修を決めました。看護師やメディカルスタッフも親切で、質問には丁寧に答えてくれます。このような環境で、診療科間の連携やチーム医療を実践的に学ぶことが、当院の特徴であり魅力だと感じています。

充実した研修環境とこの雰囲気を、ぜひ直接見学し、体感してください。

02



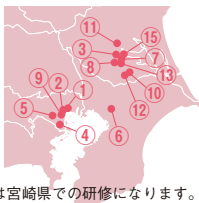
初期研修医 1年目
一色 紗茜 先生
Sayaka Isshiki
出身大学：筑波大学

院外研修について

大学病院や専門病院、地域医療に特化した各施設での研修が可能となっており、希望される診療科を様々なフィールドで研修することが可能です。

協力型病院・協力施設

- ① 東京女子医科大学附属足立医療センター (小児科・救急科・選択科)
- ② 東京女子医科大学病院 (選択科)
- ③ 筑波大学附属病院 (選択科)
- ④ 東邦大学医療センター大森病院 (選択科)
- ⑤ 東邦大学医療センター大橋病院 (選択科)
- ⑥ 東邦大学医療センター佐倉病院 (選択科)
- ⑦ 東京医科大学茨城医療センター (必修科・選択科)
- ⑧ 筑波学園病院 (産婦人科・小児科)
- ⑨ 総合母子保健センター愛育病院 (産婦人科)
- ⑩ みやざきホスピタル (精神科)
- ⑪ 神立病院 (地域医療)
- ⑫ さくら台土肥クリニック (地域医療)
- ⑬ つくばセントラル病院 (産婦人科)
- ⑭ 宮崎医療センター病院 (内科・外科・選択科)
- ⑮ 茨城県立医療大学付属病院 (地域医療)



⑭は宮崎県での研修になります。

指導医の体制



指導医とのマンツーマン体制を基本としており、病棟研修は副主治医となり、診療の基本的な知識・技能を身につけ、患者さんやご家族との接し方、病歴の記載、診断書などの文書の記入など、医師としての素養を高めプライマリ・ケアに対処できるようにすることを目標としています。研修医全員が2年後にサブスペシャリティへ進むために必要なスキルを得られるよう、各科指導医が「近い距離」で指導致します。

03



初期研修医 2年目
片平 大晟 先生
Taisei Katahira
出身大学：大分大学

“ ”

少人数制で自分にあった研修環境 牛久の地でオンオフもしっかり切替え!

当院を見学した際、先輩になる研修医の先生たちが伸び伸びと主体的に働いている姿を見て、ここなら自分も成長できると感じ、研修先を選びました。研修医は少人数制で、様々なことに積極的にチャレンジできる環境が整っています。実際に研修が始まると、ローテーション中の診療科全体で研修医をサポートしてくれるため、コミュニケーション力を含めた医師としての基礎を習得するのに非常に良い環境だと感じています。特に救急では、実践を通じて多くのことに触れ、対応力が徐々に身につく、自分の成長につながったと実感しています。さらに、先輩医師にも相談しやすい環境が整っているため、将来の専門分野を見つけることができました。

住環境も申し分なく、豊かな自然と充実した都市機能を併せ持つ牛久市は、暮らしやすさが魅力です。また、病院から家賃補助もあり、快適な住居で生活することができます。良好な待遇とバランスの取れたワークライフにより、充実した研修生活を送っています。

総合診療の考えが身につく

目前で苦しんでいる患者さんに対し、全身状態を総合的に把握し迅速的確に対処 (First aid) して行く総合診療こそが医師の仕事の根底にあると考えています。将来専門分野の追求をされる先生が多いと思いますが、「総合診療もできる医師」として活躍できる医師になってもらいたいと思います。



募集要項

応募資格

- ・医師国家試験合格見込みの者
- ・医師国家試験合格後、初期臨床研修を実施していない者(未研修)
- ・医師国家試験合格後、初期臨床研修を修了していない者(中断)

募集定員

6名

研修プログラム

牛久愛和総合病院臨床研修プログラム

身分・処遇

- 身分：常勤医師
- 勤務：週5.0日勤務
- 休日：土日祝
- 社会保険：加入(健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険)
- 宿舎：敷地内にワンルームマンションタイプの職員宿舎あり

給与

[1年次]

- 月額：400,000円
- 賞与：夏季100,000円、冬季500,000円
- 諸手当：副日直手当、副当直手当、住宅手当など

[2年次]

- 月額：425,000円
- 賞与：夏季440,000円、冬季550,000円
- 諸手当：日直手当、当直手当、住宅手当など

※当院以外で3科目以上または合計4か月以上研修する場合は月額20万円を支給

※賞与は病院業績により変動することがある

※1年次の日直、当直は常勤医のもと副担当として勤務

選考方法・日程

面接(院長、指導医)にて選考。(採用面接は随時おこなっております)

必要書類・応募手続

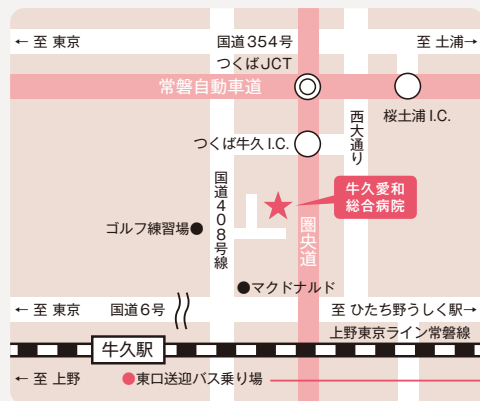
- ・履歴書(写真貼付、捺印)・卒業見込証明書・成績証明書

以上を面接日程の1週間前までに、下記人事部宛てにご提出下さい

専攻医の応募条件

原則として所定2年間の初期臨床研修を修了し、
内科専門医取得を目指し後期研修を希望する者

専攻医の
募集要項は
コチラ▶▶▶



常磐自動車道
「つくば牛久I.C.」より
お車で約5分

上野東京ライン常磐線
「牛久駅(東口)」又は
「ひたち野うしく駅」より
お車で約10分

上野東京ライン常磐線
「牛久駅(東口)」からは、
病院送迎バスが運行しています。

MEDICAL CORP. 医療法人社団常仁会
JOJINKAI 牛久愛和総合病院
Hospitals & Welfare Institutes

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896

Tel : 029-873-3111 (代表) 人事部宛 Mail: recruit@jojinkai.com

<http://www.jojinkai.com/>

牛久愛和 研修

検索

研修情報はこちらの
QRコードから→



病院データー

■ 病院長
瀬下 明良

■ 病床数
489床(一般病床434床、療養病床55床)

診療科目

[内科系]

総合診療科、脳神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器科、腎臓内科、血液内科、糖尿病・代謝内科、内分泌内科、リウマチ・膠原病内科、心療内科

[外科系]

総合外科、脳神経外科、消化器外科、心臓血管外科、内分外科、整形外科(スポーツ整形外来、股関節外来、脊椎外来、膝関節外来、肩関節外来)、形成外科、乳腺科、産婦人科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、肛門外科

[その他]

救急科、小児科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、歯科・歯科口腔外科

学会認定

[内科系]

日本内科学会 認定医制度教育病院
(筑波大学と東京女子医科大学が基幹病院となるプログラムと連携)
日本消化器病学会 認定施設

日本消化器内視鏡学会 専門医制度指導連携施設

日本循環器科学会 研修施設

日本心血管インターベンション治療学会 研修関連施設

日本腎臓学会 研修施設

日本透析医学会 専門医制度認定施設

日本血液学会 専門研修認定施設

日本糖尿病学会 認定教育施設

日本神経学会 専門医制度准教育施設

日本リウマチ学会 教育施設

日本リウマチ学会 膠原病・リウマチ内科領域基幹施設

[外科系]

日本外科学会 外科専門医制度修練施設

日本脳神経外科学会 専門医研修プログラム研修施設

日本脳卒中学会 専門医認定制度研修教育病院

日本消化器外科学会 専門医制度指定修練施設

日本乳癌学会 認定医・専門医制度関連施設

日本大腸肛門病学会 認定施設

日本整形外科学会 専門医制度研修施設

日本形成外科学会 教育関連施設

日本熱傷学会 熱傷専門医認定研修施設

下肢静脈瘤に対する血管内焼灼術の実施基準による実施施設

日本眼科学会 専門医制度研修施設

日本泌尿器科学会 関連教育施設

[その他]

日本麻酔科学会 麻酔科認定病院

日本超音波医学会 超音波専門医研修施設

腹部救急認定医・教育医制度 認定施設

日本アフェシス学会 認定施設

日本口腔外科学会 認定研修施設

日本IVR学会 専門医修練施設

日本救急医学会 指導医指定施設

日本医学放射線学会 放射線科専門医修練機関

承認など

病院機能評価認定 第JC714-4号 一般病院2

臨床研修指定病院

茨城県肝疾患専門医療機関

茨城県指定 地域リハ・ステーション

国土交通省重度後遺障害者短期入院協力病院

日本病院会短期人間ドック指定医療機関

厚生労働大臣認定 健康増進施設スポーツ・リラックス

地域災害拠点病院

NCD(National Clinical Database)施設会員

DMAT指定医療機関

院内施設

人工透析センター

総合健診センター

健康増進施設スポーツ・リラックス

併設施設

介護老人保健施設 春秋園

特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久

うしく愛和訪問看護ステーション

うしく総合介護サービス